

学ぶ人は、
変えて
ゆく人だ。



第69回

全国学芸サイエンス コンクール 応募要項

特別企画 **スタートアップ部門**

写真部門

ポスター／デザイン部門

読書感想文部門

作文／小論文部門

小説部門

詩部門

絵画部門

書道部門

理科自由研究部門

自然科学研究部門

社会科自由研究部門

人文社会科学研究部門

応募しめきり

2025年 9月22日 月曜日
(当日消印有効)

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

主催 **旺文社**

後援 **文部科学省・環境省・こども家庭庁** (予定)

特別協賛 **日本英語検定協会・大日本印刷** (予定)

特別協力 **全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／全国小学校理科研究協議会／
全国中学校理科教育研究会／日本科学技術振興財団／日本芸術院／早稲田大学／慶應義塾／
共同通信社／旺文社ベンチャーズ**

協 賛 **岩岡印刷／大塚商会／大林組／旭洋／三省堂印刷／システムシンク／シロキ／新生紙パルプ商事／高尾丸王製紙／
中越パルプ工業／TOPPANクロレ／日新印刷／日本紙通商／日本生涯学習総合研究所／日本書道教育學會／日本製紙／
パイロットコーポレーション／北越コーポレーション／みずほ銀行／ロジテムエージェンシー** (予定)

応募者全員に
参加賞を
プレゼント!



ホームページは
こちらから



全国学芸サイエンスコンクールについて

旺文社主催／文部科学省・環境省・こども家庭庁後援「全国学芸サイエンスコンクール」は、全国の小学生・中学生・高校生の研究・アートおよび文芸の振興奨励と、その個性の育成を目的に、各界各方面からご賛同とご支援をいただき、昭和32年（1957年）の第1回開催以来毎年実施しているもので、今年度で第69回を迎えます。日本全国はもとより海外の学校からも多くのご参加をいただき、昨年度は7万点を超える作品が寄せられました。

今年度はサイエンスジャンル（理科系・社会科系の各研究分野）と学芸ジャンル（アート・文芸Ⅰ・文芸Ⅱ・環境の各分野）の2つのジャンルに加えて、昨年新設した「ス

タートアップ部門」を含め全13部門で作品を募集いたします。幅広く多様な分野に多くの部門を設け、児童生徒のみなさんがそれぞれの得意分野で制作した作品をご応募いただける総合コンクールとなっています。

優秀作品には、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞・分野賞のほか、協賛協力企業・団体より各種の賞が授与されます。

「青少年の感性を高め、創造力を伸ばす」というコンクールの教育的意義にぜひご賛同いただき、夏休みの創作活動をはじめ日々の学習成果の発表の場として、積極的なご応募を心よりお待ちしております。

募集部門一覧

募集部門		小学生の部	中学生の部	高校生の部	応募要項
サイエンスジャンル	サイエンス分野				
	① 理科自由研究部門	● ※小学4年生以上	●	—	P4
	② 自然科学研究部門	—	—	●	P5
	③ 社会科自由研究部門	● ※小学4年生以上	●	—	P5
	④ 人文社会科学研究部門	—	—	●	P5
学芸ジャンル	アート分野				
	⑤ 絵画部門	●	●	●	P6
	⑥ 書道部門	●	●	●	P6
	文芸Ⅰ分野				
	⑦ 小説部門	—	●	●	P7
	⑧ 詩部門	●	●	●	P7
	文芸Ⅱ分野				
	⑨ 読書感想文部門	●	●	●	P8
	⑩ 作文／小論文部門	● ※作文での応募	● ※作文での応募	● ※小論文での応募	P8
	環境分野				
	⑪ 写真部門	●	●	●	P9
	⑫ ポスター／デザイン部門	●	●	●	P9
特別企画	スタートアップ部門	● ※小学4年生以上	●	●	P10

賞について (賞は変わる場合があります。)



内閣総理大臣賞 賞杯

内閣総理大臣賞 (1点)

賞状・賞杯・楯・記念品・旺文社教育奨学金30万円
全作品中の最優秀作品に授与

文部科学大臣賞 (6点)

[サイエンスジャンル (3点) 学芸ジャンル (3点)]
賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円
各ジャンルの小・中・高校生の部、各部の最優秀作品に授与

環境大臣賞 (1点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円
環境分野全部門の最優秀作品に授与

分野賞 (5点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金5万円
5分野の最優秀作品に授与
* サイエンス分野：日本科学技術振興財団理事長賞
* アート分野：日本芸術院長賞
* 文芸Ⅰ分野：早稲田大学総長賞
* 文芸Ⅱ分野：慶應義塾長賞
* 環境分野：共同通信社社長賞

学校特別奨励賞

(各部門1校 全12校)

表彰状・楯・図書カード3万円分
サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野/文芸Ⅱ分野・
環境分野の各部門で優秀な作品を応募した学校に授与
大日本印刷学校特別奨励賞
日本英語検定協会学校特別奨励賞

部門賞金賞

(小・中・高校生各部、各部門1点 全16点)

賞状・記念品・図書カード1万円分(特別賞受賞者を除く)
小・中・高校生各部、各部門の最優秀作品に授与

審査委員特別奨励賞

(全4点)

賞状・記念品・図書カード1万円分
理科自由研究の部門賞金賞に準じる優秀作品に授与

旺文社赤尾好夫記念賞

(全377点)

賞状・記念品
各部・各部門の金・銀・銅賞と、入選者に授与

読書感想文部門努力賞 (全51点)

賞状・記念品 (各部の読書感想文部門で入選に準じた優秀作品に授与)

理科自由研究部門努力賞 (全34点)

賞状・記念品 (各部の理科自由研究部門で入選に準じた優秀作品に授与)

学校奨励賞

表彰状 (各部門で応募数の多かった学校に授与)

特別企画 スタートアップ部門

旺文社ベンチャーズ大賞 (1点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金5万円

金賞 (小・中・高校生 各部1点)

賞状・記念品・図書カード1万円分

銀賞 (小・中・高校生 各部1点)

賞状・記念品

銅賞 (小・中・高校生 各部1点)

賞状・記念品

参加賞 (2026年2月下旬～3月上旬頃の発送予定)

コンクールに参加してくださった方全員に、参加賞を差し上げます。

※個人応募の方でも参加賞は学校経由でお届けします。あらかじめ担当の先生などにお話をしておいてください。

※塾応募の場合は、塾経由でお届けします。

※参加賞は作品を何点応募されてもお一人様一つとさせていただきます。



第68回参加賞

※第69回の参加賞は未定です。



第69回全国学芸サイエンスコンクール 応募要項

全分野共通

- 同一部門での応募は1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したのものや、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。
(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)

サイエンス分野 ※上記の全分野共通の注意事項も必ずご覧ください。

- 小学4年生～高校3年生対象。
- 上記の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- グループなど共同制作した作品の応募も可。グループ応募の場合は、作品の巻末に**グループ名**と**制作者全員の名前**、**指導した先生名**を明記し、応募用紙・応募票の名前の欄に**グループ名**と制作に携わった**人数**を記入。
- レポート用紙を使用した場合は、**必ずページ番号をふる**。パソコン入力などのプリントアウトも同様。
- 規定枚数に足りない作品は、選外となる場合がある。
- 『継続研究』について
Part 2、Part 3などの継続研究を応募する場合は、作品の1ページ目に Part ごとの研究成果や発展内容を簡潔にまとめること。また、コンクール受賞歴がある場合は、受賞したパートに「〇〇コンクール 西暦何年受賞」と記載のこと。

①理科自由研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 ※小学4年生以上 中学生の部

- **テーマ** → 自由。
- **内容** → 理科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。
参考文献を明記すること。
- **枚数** → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。小学生は模造紙・画用紙使用も可。

②自然科学研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

高校生の部

- **テーマ** → 自由。
- **内容** → 物理・化学・生物・地学などの理系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んででもよい。
資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- **文字数** → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。

③社会科自由研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 ※小学4年生以上 中学生の部

- **テーマ** → 自由。
- **内容** → 社会科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んででもよい。資料は別に添付してもよい。
参考文献を明記すること。
- **枚数** → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。
小学生は模造紙・画用紙使用も可。

④人文社会科学研究部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

高校生の部

- **テーマ** → 自由。
- **内容** → 地理・歴史・現代社会・文学などの文系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んででもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- **文字数** → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。

アート分野 ※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧ください。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。

⑤ 絵画部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- **テーマ/素材** → 自由。
- **サイズ** → 6号大(410mm×318mm)以上～50号大(1,167mm×910mm)以内。
※規定より小さい作品を規定サイズの紙に貼るなどした場合は、選外となる。
※絵画の大型作品につきましては、基本的には2作品ずつの梱包でご返送する予定です。
(10作品の場合は2作品×5個口になる予定ですが、作品によっては1作品ずつになる場合がございます)
- **その他** → 立体作品は不可。また、立体物や破損しやすいものを貼り付けた作品も選外となる。

⑥ 書道部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部

- **文字・書体** → 自由(学年に合ったものを選ぶこと)。
- **サイズ** → 半紙または画仙紙半折の1/4(約340mm×350mm)を使用。
- **文字数** → 小学1～3年は2字以内。/小学4～6年は6字以内。/中学生は6字以内。
- **その他** → 学年・名前を書き入れること。

高校生の部

- **文字・書体** → 自由題で、書体・書式は自由。
- **サイズ** → 画仙紙半切大(約1,350mm×350mm)または画仙紙^{れん}聯落ちを上方向から580mmに切ったもの(約580mm×530mm)を使用。半紙は不可。
- **その他** → 作品の読み方を**応募票に必ず明記すること**。仮表装の必要なし。

文芸 I 分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。(小説部門のみ中学1年生～高校3年生対象)
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。
- 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト(1ページ400字詰め)した作品にも、必ずページ番号をふること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を超えた作品は、選外となる。

⑦小説部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

中学生の部 高校生の部

- テーマ → 自由。
- 枚数 → 400字詰め原稿用紙10枚から80枚以内で、タテ書きとする。パソコンを使用する場合には1枚を400字詰めとすること。
- その他 → 原稿用紙1枚程度に※「**あらすじ**」をまとめ、作品の冒頭に必ず添付する。なお、「あらすじ」は規定枚数には含まれないため、ページ番号はふらないこと。
※「あらすじ」がない場合は、選外となる。

⑧詩部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- テーマ → 自由。
- その他 → 400字詰め原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。パソコン入力可。

文芸Ⅱ分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。
- 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト（1ページ400字詰め）した作品にも、必ずページ番号をふること。
- 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- 規定枚数を超えた作品は、選外となる。

⑨読書感想文部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- 書 籍 → 自由。
- 枚 数 → 400字詰め原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。（パソコン入力可）
 - ▶ 小学1～4年生 2～3枚
 - ▶ 小学5・6年生 3～4枚
 - ▶ 中学生・高校生 4～5枚
- その他 → 応募票に、書名・著者名・出版社名を明記すること。

⑩作文／小論文部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の一枚目右上にホチキスどめ

小学生の部 中学生の部 作文での応募となる。 高校生の部 小論文での応募となる。

- テーマ → 自由。
- その他 → 高校生の小論文は自分の意見や判断・推論などを述べたもの。
参考文献を明記すること（規定枚数には含まれない）。
- 枚 数 → 400字詰め原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。（パソコン入力可）
 - ▶ 小学生 2～6枚
 - ▶ 中学生 4～10枚
 - ▶ 高校生 8～20枚

環境分野

※ P.4 の全分野共通の注意事項も必ずご覧下さい。

- 小学1年生～高校3年生対象。
- P.4の「全分野共通」の注意事項を確認すること。
- 個人作品に限る。
- 環境問題をテーマにした作品に限る。
- 作品名は必ず応募票に明記すること。

⑪写真部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部 高校生の部

- **テーマ** → 環境問題をテーマにした作品に限る。
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める写真に限る。
- **サイズ** → **六つ切り (203mm×254mm) 以上～四つ切り (254mm×305mm) 以内**。デジタル写真は、規定サイズ範囲内の写真用**光沢紙**にプリントアウトしたものに限り。
- **その他** → **作品のタイトルを必ず応募票に明記する**。カラー・モノクロのいずれでもよい。スマートフォン、デジタルカメラなど、静止画を撮影できるすべての機器で撮影した作品。
画像の加工や合成*など、修正した作品は不可。

*合成とは、作品表現上、重要な要素になるような加筆や削除など二次的な画像加工処理を施すことを指す。軽度の明るさ、色の補正は合成には入らない。

⑫ポスター／デザイン部門

- ▶ 応募用紙は作品に同封
- ▶ 応募票は作品の裏面に軽くのり付け

小学生の部 中学生の部 高校生の部

ポスター

- **テーマ** → 環境問題をテーマにした作品に限る。
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める作品に限る。
ポスターには、ふさわしい言葉やキャッチフレーズを入れること。また、キャッチフレーズと作品タイトルは同一にすること。
- **サイズ** → B3 (515mm×364mm) 以上～B全判 (1,085mm×765mm) 以内。

デザイン

- **テーマ** → 環境問題をテーマにした絵柄・図案等を表現した作品に限る。
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める作品に限る。壊れやすいものは不可。
- **サイズ** → B全判 (1,085mm×765mm) 以内。

スタートアップ部門

小学生の部 ※小学4年生以上 中学生の部 高校生の部

○テーマ（小学生、中学生、高校生共通）

- ①地域活性化ビジネス
- ②社会・環境問題解決ビジネス
- ③未来の学校・教育ビジネス

その他のテーマでのスタートアップアイデア

他部門と応募方法が異なりますので詳しくは「スタートアップ部門応募要項 (PDF) をご覧下さい。

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/startup/>





第69回全国学芸サイエンスコンクール 応募方法

▶応募用紙・応募票

コンクールホームページからダウンロードしてお使いください。

▶学校番号

必須になりますので、不明な場合はコンクールホームページで検索いただくか、コンクール事務局にお問い合わせください。

Eメール **gakkon@obunsha.co.jp**

ホームページ **https://www.obunsha.co.jp/gakkon/**

学校でまとめて応募する場合

学校応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「学校応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒にお送りください。
作品の応募点数が多い部門につきましては、あらかじめ校内選考のうえ、各部門10点以内でご応募ください。
「校内総応募点数口点中 コンクール応募点数口点」と必ずご記入ください。
参加賞は校内応募者を含む応募者全員にさしあげます。学校応募用紙は、学校用控えとして必ずコピーをとり、保存しておいてください。

応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。
（添付方法は次ページ参照）
その際、「学校応募」欄に○をしてください。グループ応募の場合、名前欄にはグループ名と制作に携わった人数を（ 名）に記入してください。

個人で応募する場合

個人応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「個人応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒にお送りください。

応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。
（添付方法は次ページ参照）
※なお、入賞のご連絡や参加賞のお届けなどは、学校経由としております。
あらかじめ担当の先生などにお話しておいてください。

塾でまとめて応募する場合

塾応募用紙【必ず作品に同封】作成の注意

「塾応募用紙」は応募票と切り離し、必要事項を明記のうえ、応募作品と一緒にお送りください。

応募票【必ず作品に添付】作成の注意

応募票は作品1点ごとに、正副（切離し不可）の両方に同一の必要事項を記入し、作品に添付してください。
（添付方法は次ページ参照）
※なお、入賞のご連絡は学校経由となります。参加賞は塾にお送りいたします。
あらかじめ担当の先生などにお話しておいてください。

応募票を作品に貼り付け

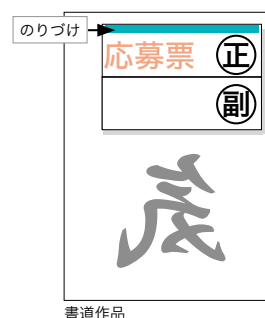
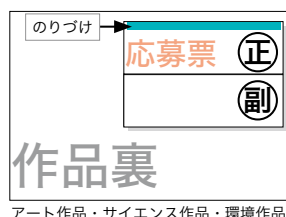
添付する際には、応募票(正)の上部にのりを付けてください。
応募票(副)にはのり付けしないようお願いいたします。

●サイエンス分野

●アート分野

●環境分野

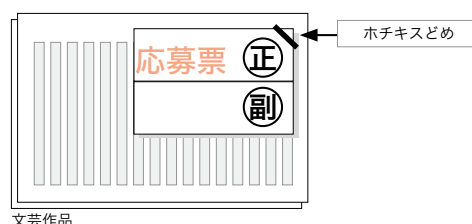
作品のウラに軽くのり付け
書道部門はウラの右上に軽くのり付け



●文芸Ⅰ分野

●文芸Ⅱ分野

作品の一枚目右上にホチキスどめ



応募用紙と作品を送付 (Eメールでの応募はできません。)

送付用封筒には、「応募対象」(『高校生の部』など)・「応募部門」(『書道部門』など)を赤字で明記してください。

応募締切 2025年9月22日(月) 当日消印有効

応募先 〒162-8680 東京都新宿区横寺町55
株式会社 旺文社
全国学芸サイエンスコンクール事務局
電話 03-3266-8002

※ Eメールでの応募はできません。(スタートアップ部門を除く)

作品返却について

作品返却は原則いたしません。必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。ただし、サイエンスジャンル・絵画・ポスター・書道に限っては、希望者に限り返却対応をいたします。

返却にかかる費用は、応募者のご負担となります。※ゆうパック使用予定(着払い)。その他の宅配業者を使用する場合があります。

なお、金銀銅賞受賞作品は、2025年3月6日(金)の表彰式で展示予定です。ご返却を希望された場合は、表彰式後のご返却となりますことをご了承ください。

◆応募作品の著作権について

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者(作者)に帰属します。

ただし、応募者は、応募の時点で、主催者(旺文社)が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載および事業における利用等を含む自由な利用を行うこと、ならびに旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。また、主催者(旺文社)は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行うことができるものとします。

◆個人情報の取り扱いについて

応募の際に提供された個人情報は、コンクール運営業務の目的以外では使用されることは一切ありません。

旺文社の個人情報保護方針については、旺文社ホームページにも掲載しております。



第69回全国学芸サイエンスコンクール 選考・審査について

全国から寄せられた応募作品は、2025年10月上旬から各部門ごとに担当の先生方による数次にわたる厳正な選考・審査を経て、各部門の入賞候補作品が選出されます。

2025年12月の最終審査会において金賞・特別賞作品が選出されます。

サイエンスジャンル最終審査委員(予定)

- ◎ 名古屋大学 特別教授 **野依 良治**
- 全国小学校理科研究協議会会長 **飯田 秀男**
- 全国連合小学校長会会長 **植村 洋司**
- 全国高等学校長協会会長 **内田 隆志**
- 全国中学校理科教育研究会会長 **石代 俊則**
- 全国中学校理科教育研究会顧問 **田中 史人**
- 学校法人 希望が丘学園 学園統括顧問 **日置 光久**
- 全日本中学校長会事務局長 **富士道正尋**

第68回サイエンスジャンル最終審査会



学芸ジャンル最終審査委員(予定)

- ◎ 日本芸術院長 **野村 萬**
- 公益財団法人 **石橋 鯉城**
日本書道教育學會會長
- 写真家 **大石 芳野**
- 環境省大臣官房総合政策課 **黒部 一隆**
環境教育推進室室長
- 東京国立博物館名誉館長・ **銭谷 眞美**
新国立劇場運営財団理事長
- 文部科学省初等中等教育局 **田村 学**
主任視学官
- 元全国造形教育連盟委員長 **永関 和雄**
- 昭和女子大学名誉教授 **西本 鶏介**
- 美術家 **堀 浩哉**
多摩美術大学名誉教授
- 作家 **三田 誠広**
- 日本現代詩人会理事人 **山田 隆昭**

第68回学芸ジャンル最終審査会



(上記：第68回最終審査委員 50音順・敬称略 ◎は審査委員長)

[特別企画] スタートアップ部門最終審査委員 (予定)

慶應義塾大学 SFC 研究所 上席研究所員
文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使 **長内あや愛**

文部科学省 科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課 産業連携推進室室長 **迫田 健吉**

早稲田大学 研究戦略センター 教授
文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使 **島岡未来子**

株式会社 旺文社ベンチャーズ パートナー **岡崎 祐樹**

(上記：第68回最終審査委員 50音順・敬称略)



第68回スタートアップ部門最終審査会



小学生の部 絵画部門 金賞 特別賞 文部科学大臣賞
「黄昏の光」
茨城県 つくば国際大学東風小学校 5年 安村 吏生



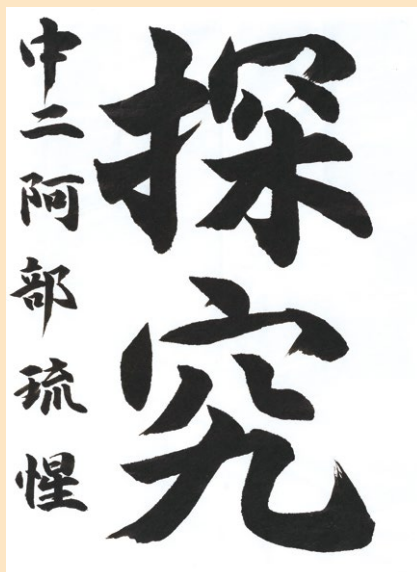
中学生の部 絵画部門 金賞 「才夢 rice」
愛知県刈谷市立雁が音中学校 3年 小貝 彩羽



高校生の部 絵画部門 金賞 特別賞 日本芸術院長賞 「hallucination (げんかく)」
福岡県立八幡中央高等学校 2年 清水 花音



小学生の部 書道部門 金賞 「め」
岩手県盛岡市立向中野小学校 1年 伊藤 もも花



中学生の部 書道部門 金賞 「探究」
広島県廿日市市立廿日市中学校 2年 阿部 琉悺



高校生の部 書道部門 金賞 特別賞 内閣総理大臣賞
「金農 銀菊詩」
千葉県立国府台高等学校 2年 會田 晃悠

第68回全国学芸サイエンスコンクール 環境分野 **金賞受賞作品**



小学生の部 写真部門 **金賞** 「環境にすこし優しい電車」
大阪府堺市立白鷺小学校 3年 飯田 竜虎



中学生の部 写真部門 **金賞** 「水の世界」
鳥取県立鳥取聾学校 2年 田中 優那



高校生の部 写真部門 **金賞 特別賞 環境大臣賞**
「祭りの街角」
埼玉県立寄居城北高等学校 3年 冨田 梨緒



小学生の部 ポスター/デザイン部門 **金賞**
「2048年 きっと守るからね！」
京都府京都市立岩倉南小学校 5年 植木 千尋



中学生の部 ポスター/デザイン部門 **金賞**
「美しい空を 星はもっと見えるはず」
静岡県沼津市立第四中学校 3年 西山 花菜



高校生の部 ポスター/デザイン部門 **金賞 特別賞 共同通信社社長賞**
「繋ぐ きれいな空を これからもずっと」
福岡県 九州産業大学付属九州高等学校 2年 佐伯 歩美

高校生の部 書道部門

内閣総理大臣賞

「金農 餌菊詩」

千葉県立国府台高等学校 2年 倉田 晃悠 さん

この度は、内閣総理大臣賞という栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。このような賞をいただけるのは夢にも思わず、受賞の知らせを聞いたときはとても驚きました。開催していただいた主催者の皆様をはじめ、関係者の方々に紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

私は高校一年生のときに、清代の書家である金冬心の独特な筆遣いに魅力を感じ、臨書を始めました。初めは字形を追いかけることで精一杯でしたが、次第に文字の大小や墨の潤滑、作品全体の白と黒のバランス、落款と本文の調和などを意識できるようになりました。今回の作品では、他の作品に負けないよう、力強く存在感のある

作品を目指しました。

思うように作品が書けず、心が折れそうになるときもありましたが、指導してくださる先生方や、応援してくれる家族、共に切磋琢磨してきた仲間を支えられながら、壁を乗り越え、成長することができました。

今回の受賞で、これまでの努力と練習の成果が認められた喜びに加え、お世話になった方々に良い報告ができることをとても嬉しく思っています。これからも感謝の気持ちを忘れず、更なる高みを目指して精進して参ります。ありがとうございました。

小学生の部 社会科自由研究部門

文部科学大臣賞
サイエンスジャンル

「多摩川を歩いて」

東京都世田谷区立芦花小学校 5年 渡邊 樟馬 さん

この度は、文部科学大臣賞という素晴らしい賞を頂き、誠にありがとうございます。

多摩川については2年生のころから興味があり、お父さんと一緒に歩き始めました。歩いているときに、いろいろな疑問が生まれ、それを研究しました。取材をすることで本やインターネットでは分からないその歴史、今何をしているのかが詳しく分かり、その大切さを知りました。特に面白かったのは羽田空港ができる前の姿の調査で昔はテーマパークのような所だったということです。更になか

なが見ることのできない貴重な資料を見させていただきました。最後に多摩川の源流の水干から河口までの地図を書きました。資料を探るのが大変で地図専門店にも行って多摩川の地図を入手しました。

取材へ行ったり、文をたくさん書いたり大変なことがたくさんありましたが、この研究を読んで多摩川はすごいんだなと思ってもらえたらうれしいです。そしてご協力していただいた皆様ありがとうございました。

中学生の部 理科自由研究部門

文部科学大臣賞
サイエンスジャンル

「メダカの麻醉法の確立～炭酸水とドライアイスを用いて～」

神奈川県 慶應義塾普通部 1年 升田 翔大 さん

この度は、文部科学大臣賞という栄誉ある賞をいただき、本当にありがとうございます。夜な夜なこっそり公式ホームページを見て文部科学大臣賞に自分の名前見つけた時は、携帯禁止時間の夜中にも関わらず嬉しさを押さえきれず、スマホをすぐに母の元に持って行ってしまいました。

この実験を行ったきっかけは、3年前に観賞魚が動かなくなった事件でした。調べた結果、水中の過剰な二酸化炭素のためでした。このことに興味を持ち、炭酸水で魚を眠らせてゆっくりと観察できないか？と考え実験をはじめました。調べても実験方法などは見つ

からなかったもので、試行錯誤しながら実験を計画し実験機材も色々工夫しました。結果も正しいかわからないので、同じ実験を何度も繰り返すなど時間もかかり大変でした。しかし、これまで未知だったことが実験をするにつれてわかっていくことがとても楽しく感じ、さらに知りたいことも増え、3年に渡り続けることができました。

この経験を元に今後も様々な研究にチャレンジしたいです。審査員の先生方をはじめコンクール関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

高校生の部 自然科学研究部門

文部科学大臣賞
サイエンスジャンル

「河床粒径の変化10 ～遷急点の原因を探る～」

静岡県立清水南高等学校 1年 河原崎 朱 さん

この度は文部科学大臣賞という素晴らしい賞を頂きありがとうございます。これまで研究を支えてくださった方々に感謝いたします。

小学1年生のとき、家族と川へ遊びに行ったことがありました。川原にある石を見て「このたくさんの石は、どこからやってきたのかな？」という疑問から研究が始まりました。この些細な出来事からこんなにも続く研究になるとは、私自身思っていませんでした。

夏の強い日差しが照りつける川原での調査はとても暑く、雨ががりの川原は増水し、とても危険で厳しい調査もありました。冬には、冷たい川原風で凍えながら調査したことも今では良い思い出です。

苦しくても諦めずに継続していくことの大切さを学びました。

そんな苦労で得た調査結果をもとに考察をしても、すぐには解決できません。川原の石は何もしゃべってはくれませんが、諦めずに語りかけていると「調査結果やデータ、資料」が、その原因を語り出すことがあります。そのわかったときの喜びや嬉しさが、10年間の研究を続けることができた原動力だったのかもしれない。

これから様々な場面で、簡単には解決できない問題にぶつかることがあるかもしれません。そのようなとき、これまでの研究で得た経験を活かし、諦めずに自分から語りかけ解決したいと思います。

小学生の部 絵画部門

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

「黄昏の光」

茨城県 つくば国際大学東風小学校 5年 安村 吏生 さん

この度は、文部科学大臣賞という名誉ある賞をいただきありがとうございます。受賞を聞いた時は嬉しさと共にとても驚きました。

僕は、普段から夕日を見るのが好きなのですが、家族旅行の時に見た夕陽がいつもより綺麗に見えて、これを絵にしたいと思いました。今回は、夏休みの目標として、初めて50号という大きさのキャンパスにチャレンジする事にしました。今日も一日楽しかったな、明日も楽しいと良いなと、明日へと楽しみがながるようにとイメージしました。建物の色合いを考えるのも大変でしたが、一番苦労したところは夕陽の光、そして人々やヤシの木と鳥たちの影に色

を重ねて色の厚みを出す事でした。また、大きなキャンパスに描くことは想像以上に根気がいる作業でしたが、大好きな絵を描くことなので、何日にもわたり長時間、頑張りができました。苦勞しながらやっと仕上げることができたので、その絵を評価してもらえてとても嬉しかったうえに今後の自信になりました。

このコンクールに応募するきっかけをくださった東風小学校の先生方、自由に絵を描く楽しさを教えて下さった井沢先生、玉井先生といつも支えてくれる家族に感謝します。

中学生の部 小説部門

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

「音楽屋(名前募集中)」

福岡県 久留米大学附設中学校 3年 井上 怜南 さん

この度は、文部科学大臣賞という名誉ある賞をいただき、とても光栄に思います。

以前から小説が書きたいという漠然とした思いを持っており、学校の課題をきっかけにこの小説を書き始めました。ストーリー作りで悩んだ結果、幼稚園の頃からピアノを習っていて馴染みのあるクラシック音楽と、元々好きだった小説の二つの要素を融合させることを思いつきました。

一番苦労したことは、3つの短編小説のテーマ決めです。「自分が

この短編で何を伝えたいのか」を意識して、テーマの軸がブレないように努めました。また、読者が飽きないように、三つの短編の題材の曲の曲調を変え、強弱をつけることを意識しました。苦心しながら書いた分、小説を書き終えた時の達成感は今でも忘れられません。

最後に、私の作品を評価して下さった審査員の方々、並びに作品を書くにあたってご指導くださった先生、本当にありがとうございます。また機会があれば小説を書きたいと思います。

高校生の部 小説部門

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

「ハイテク世界の伝書鳩」

東京都 早稲田実業学校高等部 3年 加藤 成竜 さん

年賀状や手紙など手書きの文章でのやり取りが目に見えて希薄になってきたと、日ごろから感じていました。もともと私自身、手紙を書いたり送ったりということが好きなので、手書きの文字の温もりについて考えることが多かったです。

同時に、普段教室の後ろの黒板の前で話す友達との会話は、手紙の文字とはまた違った温かさがあり、じわじわと迫ってくる卒業によってそれらが薄れてしまうことに漠然と寂しさを感じていました。

文字と言葉のそれぞれが持っている特徴を改めて考え、それらが失われていくという自分の感覚をまとめたものがこの『ハイテク世界の伝書鳩』でした。「文字と言葉は大切だ」というありふれた一文を改めてテーマに据え、一方を失い、もう一方に強く心惹かれた二人を描きました。

私にとっても大切なこの二つをテーマに掲げた小説でこのような名誉ある賞をいただいたこと、本当に嬉しく思います。この気持ちを忘れずに、これからも創作活動に励んでいきたいです。

高校生の部 写真部門

環境
大臣賞

「祭りの街角」

埼玉県立寄居城北高等学校 3年 富田 梨緒 さん

このたびは、環境大臣賞に選んでいただきありがとうございます。

この写真は、夏休みにお祭りに行った際に撮ったものです。ごみ箱が見えないほど、空き容器や割りばしなどが道路に溢れていました。ゴミの多さもそうですが、山のようなプラスチックゴミに私は驚きました。そして、環境を考えるきっかけになるのではと思い、撮影しました。

授業課題で環境について考えた際、海洋ゴミ・プラスチックゴミなどが人体にも悪影響を及ぼしていることが分かり、それらを少し

でも減らしていく努力をする必要があると感じました。最近は地球温暖化の影響も目に見えてひどくなっています。もう何年も前から言われていた問題ですが、解決の見通しはまだ立っていません。

地球規模の大きな問題です。大きすぎてどうしてよいのか考えにくい問題です。ですが、お祭りで捨てられていたあのプラスチックを他のものに変えたり、生活を見直しゴミを少しでも減らしたりするなど、私たち一人ひとりが、今できる努力をしなければならぬと心から思っています。

第69回全国学芸サイエンスコンクール

主催

株式会社旺文社

後援

(予定)

文部科学省
環境省
こども家庭庁

特別協賛

(予定)

公益財団法人日本英語検定協会
大日本印刷株式会社

協賛

(予定)

岩岡印刷株式会社
株式会社大林組
三省堂印刷株式会社
株式会社シロキ
高尾丸王製紙株式会社
TOPPANクロレ
日本紙通商株式会社
公益財団法人日本書道教育學會
株式会社パイロットコーポレーション
株式会社みずほ銀行

株式会社大塚商会
旭洋株式会社
株式会社システムシンク
新生紙パルプ商事株式会社
中越パルプ工業株式会社
日新印刷株式会社
一般財団法人日本生涯学習総合研究所
日本製紙株式会社
北越コーポレーション株式会社
ロジテムエージェンシー株式会社

特別協力

全国連合小学校長会
全日本中学校長会
全国高等学校長協会
全国小学校理科研究協議会
全国中学校理科教育研究会
公益財団法人日本科学技術振興財団
日本芸術院
学校法人早稲田大学
学校法人慶應義塾
一般社団法人共同通信社
株式会社旺文社ベンチャーズ

金賞作品集

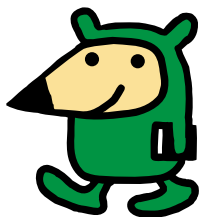
金賞作品を収録した作品集をご応募いただいた学校・塾と入賞者の方々にお送りしています。また、表彰式・受賞パーティーにて出席者・ご来賓の方に贈呈しています。



第68回金賞作品集

ラピス

全国学芸サイエンスコンクール
公式キャラクター



「ラピス」はスペイン語で「えんぴつ」。鼻の部分がえんぴつなんです。現在小学校をはじめ、多数の教育現場で、えんぴつの使用が推奨されています。そんな「ラピス（えんぴつ）」は児童生徒の学びや表現、創造のシンボルともいえます。また、悪夢を食べてくれるといわれる「ばく」もモチーフとなっており、児童生徒に夢と希望を持ち続けて欲しいという願いが込められています。体の緑は「健康」をイメージし、見る人に健やかな印象を与えます。「ラピス」という軽やかな響きも覚えやすく、皆さまに愛されるキャラクターとなることでしょう。ラピスは全国学芸サイエンスコンクールの創造と希望の象徴です。私たちはラピスと共に、夢を実現していく児童生徒を応援します。

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局

Eメール gakkon@obunsha.co.jp 「スタートアップ部門」を除き、
Eメールでの作品応募はできません

電話 03-3266-8002 FAX 03-3266-6849

ホームページ <https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

全国学芸



でも検索可能です。

学校番号の検索や応募用紙のダウンロードができます。



コンクールの
ホームページは
こちらから

